

松江工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	創造設計製作1	
科目基礎情報							
科目番号		0015		科目区分		専門 / 必履修	
授業形態		実験・実習		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科		電子制御工学科		対象学年		3	
開設期		前期		週時間数		2	
教科書/教材		配布プリント等					
担当教員		外谷 昭洋,木村 憲二					
到達目標							
(1) 班員で協力し、共通の目標に向かってものづくりに取り組むことができる。 (2) 課題をクリアする機械システムを構想し、機械構造を図や文章で表現できる。 (3) 構想図が作成できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		班員で協力して、共通の目標に向かって取り組むことが十分にできる		班員で協力して、共通の目標に向かって取り組むことができる		班員で協力して、共通の目標に向かって取り組むことができない	
評価項目2		課題をクリアする機械システムを構想し、機械構造、回路、プログラムを図や文章で十分に表現できる		課題をクリアする機械システムを構想し、機械構造、回路、プログラムを図や文章で表現できる		課題をクリアする機械システムを構想し、機械構造、回路、プログラムを図や文章で表現できない	
評価項目3		構想図から正しい製作図が作成できる		構想図から製作図が作成できる		構想図から製作図が作成できない	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 D3							
教育方法等							
概要		本科目は、後期で実施する創造設計製作2と併せて受講することにより、完結する構成になっており、もの作りによって創意工夫の楽しさ、面白さを体験し、メカトロニクスを含む工学への興味と関心を高め、同時に各専門科目の関連性と役割を理解する。1年間の期間内に、与えられた課題を実現するための機能、性能を有するメカトロニクス機器（操作型、自立型ロボット等）を設計製作する。 創造設計製作1では演習課題を行ったあと、グループに分かれてコンテスト課題に取り組む。コンテスト課題については、アイデアを発想して、コンテスト課題に対応した機械システムの構想、機構および回路の設計、作図をおこなう。創造設計製作2では機械システムの製作、性能テスト、成果発表をおこなう。 コンテスト課題は班単位の取り組みとし、各々の役割、任務分担を決め、班員のチームワークを発揮し、成果を確実なものにする。					
授業の進め方・方法		・スライドや配布資料、実演などを用いて説明を行う。受講者は必ずノートを持参し、適宜ノートを取りながら授業に臨むこと。(ルーズリーフやメモ用紙はNG) ・通常の授業と同様に予習復習を行いながら、授業進度に合わせられるように各自工夫をすること。 ・授業後にノートまたはワークシート、作成したデータなどを回収することがあります。 ・演習課題30%、コンテスト課題50%、取組姿勢20%の割合で評価する。50%以上を合格とする。 なお、取組姿勢については個人の取組姿勢を15%、グループの取組姿勢を5%で評価する。					
注意点		・人まねではなく自分の頭で考え、オリジナルなアイデアを大切に育てよう。 ・チームワークの良し悪しが成功の鍵である。自分の役割を果たそう。 ・自ら進んで取り組む積極性が困難を克服し、成功に導く。 ・「もの作り」を通して、創造の苦しさ楽しさ、科目相互のつながりやチームワークの大切さ、自分の適性等、多くのことを学んで欲しい。					
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	全体説明 シラバスの説明、演習課題の説明、構想図の作成				
		2週	設計図作成 演習課題の設計図を作成する				
		3週	加工演習 演習課題の加工を行う				
		4週	加工演習・評価 演習課題の加工および評価を行う				
		5週	加工演習・評価 演習課題の加工および評価を行う				
		6週	構想検討 コンテスト課題について構想を練る				
		7週	構想検討 コンテスト課題について構想を練る				
		8週	構想検討 コンテスト課題について構想を練る				
	2ndQ	9週	中間発表 コンテスト課題について中間発表を行う				
		10週	機構部設計製図 (1) 総組立図、部分組立図、部品図の作成				
		11週	機構部設計製図 (2) 総組立図、部分組立図、部品図の作成				
		12週	機構部設計製図 (3) 総組立図、部分組立図、部品図の作成				

		13週	機構部設計製図（4） 総組立図、部分組立図、部品図の作成	
		14週	機構部設計製図（5） 総組立図、部分組立図、部品図の提出	
		15週	最終発表 コンテスト課題について最終発表を行う	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	工学実験技術(各種測定方法、データ処理、考察方法)	物理、化学、情報、工学における基礎的な原理や現象を明らかにするための実験手法、実験手順について説明できる。	3	前1,前2
				実験装置や測定器の操作、及び実験器具・試薬・材料の正しい取扱を身に付け、安全に実験できる。	3	前3
				実験データの分析、誤差解析、有効桁数の評価、整理の仕方、考察の論理性に配慮して実践できる。	3	前3
				実験テーマの目的に沿って実験・測定結果の妥当性など実験データについて論理的な考察ができる。	3	前4,前5
				実験ノートや実験レポートの記載方法に沿ってレポート作成を実践できる。	3	前9,前15
				実験データを適切なグラフや図、表など用いて表現できる。	3	前9,前15
				実験の考察などに必要な文献、参考資料などを収集できる。	3	前9,前15
				実験・実習を安全性や禁止事項など配慮して実践できる。	3	前3,前4,前5
				個人・複数名での実験・実習であっても役割を意識して主体的に取り組むことができる。	3	前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14
				共同実験における基本的ルールを把握し、実践できる。	3	前6,前7,前8,前10,前11,前12,前13,前14
専門的能力	分野別の工学実験・実習能力	機械系分野【実験・実習能力】	機械系【実験実習】	レポートを期限内に提出できるように計画を立て、それを実践できる。	3	前9,前15
				実験・実習の目標と心構えを理解し、実践できる。	3	前3
				災害防止と安全確保のためにすべきことを理解し、実践できる。	3	前3
				レポートの作成の仕方を理解し、実践できる。	3	前9,前15
				ノギスの各部の名称、構造、目盛りの読み方、使い方を理解し、計測できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5

評価割合

	演習課題(構想図、製作図、計測結果など)	コンテスト課題(構想図、設計計算書、製作図等)	取組姿勢(個人)	取組姿勢(グループ)	合計
総合評価割合	30	50	15	5	100
基礎的能力	0	0	0	0	0
専門的能力	30	50	15	5	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0